

令和7年度
北中学校
学校だより
2月2日号



かたくり

学校教育目標

『鍛え磨く』～知・徳・体～

東松山市立北中学校
東松山市大字松山 1895-2
Tel 0493-23-1223
文責 西川 光治



2月になりました(2月は「逃げる月」)

2月は、厳しい寒さの中に少しずつ春の訪れを感じる月です。しかし、まだまだ寒さ厳しく、春を見つけることができません。日本では、古くからそれぞれの月に「和風月名」があり、2月のことを「如月(きさらぎ)」と呼んでいます。「衣更着(きさらぎ)」とも呼ばれ、寒さで衣服をさらに重ね着するという意味から「きさらぎ」と呼ばれる月になったようです。2月の主要な行事には、2月3日の豆まきや恵方巻を食べたりする節分(立春の前日)、2月4日が暦の上では春の始まりとされる「立春」、そして、2月14日は何となく男性がソワソワしてしまう、チョコレートを贈る習慣のバレンタインデーがあります。

2月は1年の中でも一番日数が少ない月です。あっという間に「逃げ(2月)」てしまいます。

現在、**1年生**は2月12・13日と一泊二日で長野県菅平で行われる「スキー教室」に向けて準備をしています。今年は雪がたくさん降っているようで、スキーをするには最高のコンディションです。中学校初の宿泊行事です。けがをしないように思い切り楽しんでいきましょう。

2年生は、先月二泊三日で京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。当日、西日本には大寒波が来ていて、滋賀県の琵琶湖辺りを新幹線が通過するときには、雪が降っており一面真っ白な銀世界でした。30分近く遅れて京都駅に到着し、「雪景色の京都かなあ?」と思っていたところ、京都は「晴れ」。とても寒かったです。3日間天候に恵まれ、思い出に残る、素晴らしい修学旅行となりました。



【京都・宇治 平等院鳳凰堂】



【奈良の大仏】



【金閣寺】



【京都タワー】



【嵐山・渡月橋】

3年生は、ちょうど2年生が修学旅行に出かけている頃、私立高校の受験が行われました。多くの生徒が人生初の岐路に立ち、進路決定に向けてチャレンジしたわけですが、とても緊張したと思います。よく頑張りました。2月26・27日には、県公立高校の入試が控えています。体調を崩さないように、そして後悔しないように、全力を尽くして頑張ってくださいと思います。応援しております。



<令和8年2月の主な行事>

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日		15	日	
2	月	実力テスト（2年）	16	月	第3回学校運営委員会 県公立高校出願
3	火	生徒会朝会（保健委員会）たんぽぽ作品展	17	火	生徒会朝会（美化委員会）県公立高校出願
4	水		18	水	県公立高校志願先変更
5	木		19	木	第2回民生児童委員連絡協議会 県公立高校志願先変更
6	金		20	金	
7	土		21	土	
8	日	市吹奏楽祭	22	日	
9	月	期末テスト（3年）	23	月	天皇誕生日
10	火	期末テスト（3年）スキー教室前日指導（1年）	24	火	
11	水	建国記念の日 NGD	25	水	県公立高校入試事前指導（3年） NGD
12	木	スキー教室（1年）	26	木	県公立高校学力検査（3年）期末テスト（1・2年）
13	金	スキー教室（1年）	27	金	県公立高校面接・実技（3年）期末テスト（1・2年）
14	土		28	土	

次年度（令和8年度）に向けて

令和8年度の行事計画（案）について

先日（1/28 水）、来年度入学の新入生説明会が行われ、今年度と来年度の行事の変更点についてお話させていただきました。大きな変更点は、まず「スキー教室」を止め、日帰りの、例えば「東京（上野・浅草）めぐり」や「川越めぐり」…【検討中】…を実施いたします。

その最たる理由は、昨今の費用の高騰です。来年の「修学旅行」も新幹線等の割引が適応外となり、五千円程度値上がりすると業者からも聞いております。また、比企地区内でスキー教室を行っている学校が1校しかないという現状です。（その1校も自治体からの補助が半額あるそうです。）御理解いただければと思います。

令和8年度からの生活のきまりについて

本校では、校則について改訂を進めてまいりました。時代の進展とともに昨今の子供たちの実状、保護者の考え方、地域の状況、社会の常識等から、「校則」は絶えず見直していかなければならないものだと思います。そこで、現在通学している在校生、保護者の方々からアンケートを行い、教職員で何回も何回も話し合いを行ってまいりました。来年度から変更する1つの例として挙げますと、「頭髪」についてです。男女で区別して生徒手帳に記載してあったものを、区別を無くしたり、「社会通念上、奇抜でないもの」と言葉はあいまいですが、人に迷惑をかけないことを根底に、生徒自身が大人になり社会へ出た時に…を考えながら、学校生活を送れるようにと考えてまいりました。必要以上にお金をかけたり、髪型のセットに時間や労力をかけたりすることがないようにと考えております。大人である教師の方から「これは？…少しどうかな？」と思った時には、その都度声をかけさせていただきます。

本校の目指す生徒像は、「学ぶ意欲と豊かな心を持ち、鍛え磨き、たくましく生きる生徒」です。

「生活のきまり」の改定を例にとっても、学校生活を自分たちでより良くしていこうとする態度も養うことにつながり、子供たちの主体性を培う機会にもなると考えております。これからも定期的に見直しを図ってまいりますので、御理解の程よろしく願いいたします。